

平成30年度通常総会・交流会開催



吉岡会長

平成30年度通常総会を6月13日(水) 松江市殿町サンラポーむらくもで開催しました。

総会は、石碓代表理事副会長の司会進行で始まり、吉岡代表理事会長の挨拶、そして来賓を代表して、公務多忙の中駆けつけて頂いた大倉司郎経済産業省中国経済産業局参事官及び園山繁島根県議会副議長から祝辞を受けました。



大倉参事官



園山副議長

吉岡代表理事会長が議長席につき議事に入りました。

まず、第1号議案「平成29年度事業・決算報告について」の事務局から説明を行いました。事業報告では、協会の活動は、定款に定める「情報関連技術の開発及び利用の促進、情報化の基盤整備等を通じて情報産業の振興を図る」を目的に、会員各社のIT人材育成のための研修事業や講演会の開催、会員相互の親睦を図るための各種イベントの開催を行ったことが報告された。特に、島根県の補助事業である「IT産業人材育成事業」では、21講座に156人の参加があったこと、また、この1年間、IT関連企業の島根県への立地企業を中心に、会員加入があり、会員が正会員1社、賛助会員3社の加入があった一方、退会した正会員2社があり、正会員60社、賛助会員17社となったことが報告されました。

続いて、決算案では、平成30年3月9日開催された理事会での予算の補正議決に基づいて、平成29年度で人材育成積立金1百万円を積み立てたことにより固定資産のうち特定資産が336万円、資産合計が446万4千585円となったことが説明されました。正味財産増減計算書では、会員数の増加により会費収入が増加する一方、人材育成研修事業で、講座開催数の増加により、島根県補助金及び受講料並びに研修事業費が増加し、結果として、当期の正味財産増減額は22万479円となり、期末正味財産残高が424万4千106円となったことが説明されました。

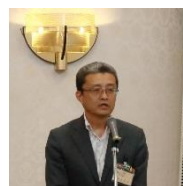
また、平成30年5月16日安部圭司及び竹内守両監事による監査が行われ、理事の業務監査に関して、法令等に抵触する不正行為がなかったこと、また会計については、適正に処理されているとの報告がありました。以上の説明の後、出席会員多数の賛成で、平成29年度事業・決算報告案は承認されました。

続いて、第2号議案「役員（理事）の選任について」を議題としました。事務局から、当議案は、平成30年3月31日づけで浅田信博理事からの職を辞する旨の届け出がでていたため、浅田信博理事の後任理事として女鹿田晃和氏を選任するものであるとの説明がありました。賛成多数で女鹿田晃和氏が理事に選任され、任期は浅田前理事の任期である次期総会の終了の日までとなりました。

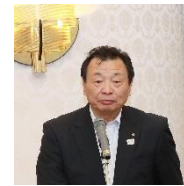
続いて、報告事項として、平成30年3月7日に開催した理事会で議決した平成30年度事業計画及び予算についての説明を事務局から行いました。

以上で通常総会を終了した後、平成29年度人材育成研修事業で多くの技術者を派遣した(株)テクノプロジェクト、(株)オネスト、(株)セントラル情報センターの三社に吉岡会長から功労感謝状が手渡されました。

引き続き、75名の参加で交流会を行いました。交流会は北村功業務執行理事の開宴の挨拶で始まり、多用のなか駆けつけて頂いた、新田典利島根県商工労働部長、そして能海広明松江副市長の祝辞を頂きました。



新田部長



能海副市長



山崎理事長

山崎征爾しまね産業振興財団理事長の乾杯の音頭をとっていただきました。交流会の席上新たに代表者となった(株)プロビズモ代表取締役専務女鹿田晃和氏、特定非営利活動法人プロジェクトゆうあいの代表理事田中隆一氏からそれぞれ挨拶を頂きました。

なごやかに親睦を深めることができた交流会は、井上浩代表理事副会長の中締め挨拶で終宴となりました。